

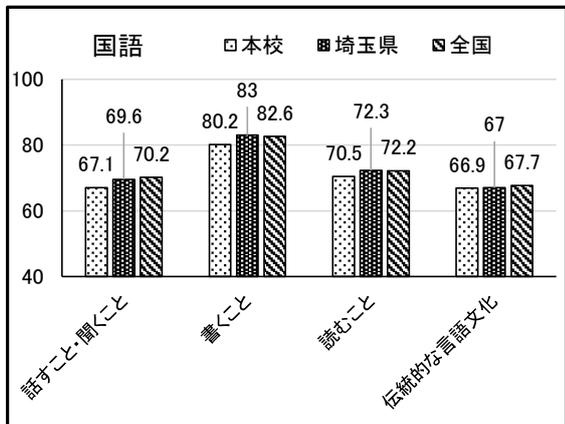
### 令和元年度全国学力・学習状況調査結果について

この学力調査は、平成31年4月18日に中学校3年生を対象に実施したものです。また、本分析・考察は全国(公立)及び県(公立)平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化を表すものではありません。

#### 1 国語の課題と解決に向けての方策について

正答率のグラフ

本校と県や全国との正答率を比較すると、全領域で県や全国を下回っており、特に書くことの領域において顕著に見られました。以前より文章を読み解く力、情報を整理する力、語彙力などに課題がみられるので、言葉に対する意識を高め、読解力を高めるために演習を重ねることが必要であると考えました。また自ら意欲的に国語に取り組むための手立てを今後も続けていきます。

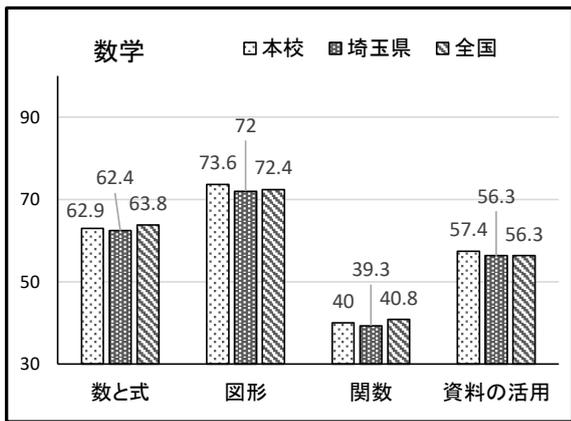


- ①お気に入りの本紹介、故事成語・古典音読のグループ発表
- ②課題作文、説明的文章の要約などの指導・添削
- ③文章表現・文章構成に着目した読解、朗読劇の実践
- ④教材ごとの意味調べ・用例作り、定期的な漢字練習、辞書の活用、朝読書の実施、学校図書館の充実

#### 2 数学の課題と解決に向けての方策について

正答率のグラフ

本校と県や全国との正答率を比較すると、図形及び資料の活用領域においては県や全国を上回っており、数と式及び関数領域においては全国を下回っていますが県より高い結果が得られました。図形の性質を理解し、論理的に考察し表現する能力や与えられた情報から必要な情報を選択して的確に処理する能力が身につけていると考えられます。しかし、項目別に比較すると、関数領域の知識・技能の定着に課題があることがわかりました。そこで、数学的な知識・技能の定着を図るために、以下の取り組みを行います。

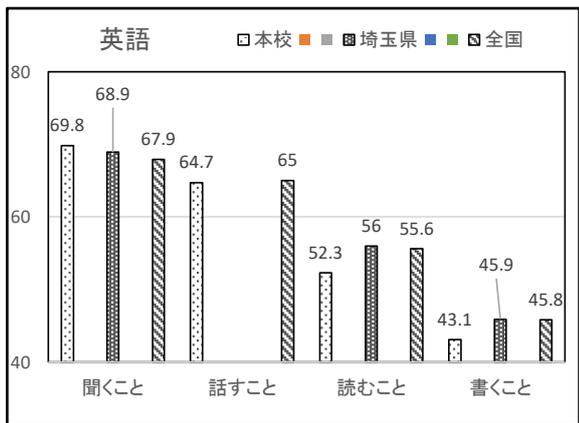


- ①関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解するための演習問題の充実
- ②問題解決の方法を数学的に説明する場面の設定や記述式の問題の設定

#### 3 英語の課題と解決に向けての方策について

正答率のグラフ

本校と県や全国との正答率を比較すると、「聞くこと」の活用領域においては県や全国を上回っていることがわかりました。自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る能力が身につけていると考えられます。しかし、「読むこと」と「書くこと」に課題があることがわかりました。そこで、以下の取り組みを行います。



- ①比較的短めの文章を読んで、大まかな流れをつかむ練習の充実
- ②身近な話題や出来事について、自分の考えや気持ちを書く練習の充実